



さくらっこ!

戸塚区青少年指導員協議会は

戸塚区青指

検索



目次

P. 1…子どもから教えられること／P. 2・3…エリアズームアップ！—各地区的活動紹介— 第2回
P. 4…チャレンジフェスティバルの紹介・2018年度下期行事・2019年度上期行事予定



子どもから教えられること

親は子どもたちの成長のためにいろいろなことを教えようと思っています。しかし、逆に子どもたちの言動から教わったり考えさせられたりすることも多いのではないでしょうか。

① 幼少期

自発性・創造性の芽生える時期です。
いろいろな事柄に興味を持ち、脳が発達します。

- 歩いていると、ふと立ち止まって石ころを眺めている。「ほら、早く行くよ」と言てもずっと見つめている。触ってみたりする。「汚いから触らないで!」「ねえ、石って何でできるの?」
- 「何してるの、ダメでしょ!」畳をハサミでほじくっている。「中に何があるのかと思って」

大人たちは忘れていませんか「好奇心」「探求心」。

③ 児童後期

自然な目的意識発生と仲間関係に
重要度が高まる時期です。
自分と他者を比較して自分らしさを確認します。

- 「みんな持ってるのにどうして買ってくれないの?一緒にないで仲間はずれにされちゃう」
- 「どうしてみんなと一緒にやダメなの?個性が大事っていつも言うくせに」

大人も悩む個性の違いと
共生の問題をおざなりに
していませんか。



② 児童前期

集団生活・仲間生活を通して社会性がより発達する
時期です。善悪の判断基盤が作られてきます。

- 「学校でね、困っている人たちがいて100円で多くの人たちを助けることができるって聞いたから寄付しようと思うんだ」「いいんじゃない、とてもいいことだと思うよ」「じゃあ、お年玉から1万円寄付するね」「えっ1万円も?」「ダメなの」

大人たちは「純粋な心」に対して
何と言える理由がありますか。

④ 思春期

自分自身の価値観が確立される時期です。
理想と現実、建前と本音のギャップや、素直になれない
自分に強いストレスを感じたりします。

- 「俺、明日から家出をしようと思うんだ」「どうして?」「スマホもゲームもない環境で自分を試そうと思う」「できるわけないでしょ!」「何事もやってみないとわからないじゃん」
- 「体に悪いから早く寝なさいって言うくせに、勉強するなら遅くまで起きていいの?」
- 「夢は諦めなければ必ず叶うって、叶った人に訊けばそう言うに決まってるじゃん」
- 「勝ち組、負け組って何? なにで勝負してるの?」

何が良くて何が悪いのか、
ごまかすことに慣れてしまっていますか。

子どもの頃、大人は何でも知っていて、人間性も豊かで成熟していると思っていたませんでしたか。しかし、大人になっても意外に成長していない自分に気付くことがあります。それどころか、大切なことを忘れてしまっていることの方が多いかも知れません。子どもたちの言動を大切に受け止めることが、大人と子どもの成長に必要かも知れませんね。子どもたちを“ボーッと見てんじゃねーよ!!”